

文化旭

令和6年度版



文化芸術フォーラム発表

旭市文化協会

令和六年度版

文化旭

目 次

| | | | |
|---------------------|--|------------|-----------|
| 未来への飛躍の年に…………… | | 旭市長 | 米本 弥一郎…1 |
| 香取航空基地②…………… | | 千葉県議会議員 | 高橋 秀典…3 |
| 三月に思う…………… | | 旭市教育長 | 向後 依明…5 |
| 芸文協文化芸術フォーラム…………… | | 旭市文化協会会長 | 花園 千名美…7 |
| あれから四年を迎え…………… | | 旭市文化協会副会長 | 宮内 幸平…8 |
| 響き…………… | | 旭市文化協会副会長 | 堀川 咲子…9 |
| 飛躍した一年…………… | | 旭市文化協会事務局長 | 高木 健寿…10 |
| 一年間の行事…………… | | 芸能部長 | 平野 和三郎…11 |
| 二期四年を振り返って…………… | | 美術部長 | 加瀬 なを…12 |
| 発表の場…………… | | 文芸部長 | 相沢 弘幸…13 |
| 茶の湯つれづれ…………… | | 茶華道部長 | 石毛 千恵子…14 |
| 華道いけ花…………… | | 茶華道部 | 實川 芳枝…15 |
| 文化芸術フォーラムに参加して…………… | | ナプアエピリクウレイ | 鶴月 実千代…16 |
| 短歌と健康・食と美を…………… | | しのび坂短歌会 | 加瀬 教子…17 |

| | | |
|---------------------------|-----------------|----|
| 令和六年度第二十回記念文化祭 | 芸能部・発表会 | 18 |
| 令和六年度第二十回記念文化祭 | 美術部・文芸部・茶華道部・囲碁 | 20 |
| 令和六年度第十九回チャリティー芸能部発表会 | | 23 |
| 令和六年度第十九回チャリティー美術展 | | 25 |
| 社会福祉協議会へ寄付・福祉への貢献 | | 27 |
| 文芸作品 俳句・川柳・短歌 | | 28 |
| 令和六年度会員名簿 | | 33 |
| 令和五年度～六年度役員名簿 | | 35 |
| 令和七年度第二十一回文化祭 | 日程 | 36 |
| 令和七年度第二十回チャリティー芸能部発表会・美術展 | 日程 | 36 |
| 編集後記 | | 36 |

表紙の写真

第三十五回文化芸術フォーラム発表

ナプアエピリクウレイ

題字 故宮本浩風(当時副会長)書

20th 第3期旭市総合戦略がスタート

〈未来への飛躍の年〉

旭市長 米本 弥一郎



旭市は、本年7月に新市誕生から20年の節目を迎えます。これまで、一体感の醸成を図りながら新市としてのまちづくりを進めるとともに、東日本

大震災からの復旧・復興やその教訓を生かした災害に強いまちづくり、人口減少に歯止めをかけるべく、少子化対策や生涯活躍のまち構想、シティープロモーションの推進など、市民の皆様や事業者等と力を合わせ、様々な取り組みを横断的に進めてまいりました。

文化協会の皆様には、日頃より地域の文化振興に貢献されておりますとともに、文化事業にご尽力をいただいております。この場をお借りし心より御礼申し上げます。また、昨

年は旭市文化協会が20周年を迎えられたところであり、花園会長をはじめ、役員や会員の皆様、歴代関係者の皆様のこれまでのご努力に、改めまして敬意と感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月の旭警察署新庁舎の竣工を皮切りに、3月には海上町時代からの悲願であった清滝バイパスが開通。7月には本市にもゆかりのある渋沢栄一の新一万円札の発行やパリオリンピックでの日本選手の活躍。10月には飯岡漁港を中心とする「海業」の推進に向けた協議会の設立や自治体では全国初となる「ロケ弁グランプリ in 旭市」が開催されるなど、明るい話題や新たな動きがたくさん見られた年となりました。

また、子育て世帯に対する支援の充実に取り組む中、本市の合計特殊出生率が県内第3位にランクインしたという嬉しい知らせが届いたほか、本市における各種の取り組みが多方面で認められ受賞ラッシュとなりました。厚生労働

省・スポーツ庁が主催する「健康寿命を延ばそうアワード」では、官民学連携による糖尿病予防の取り組みが優良賞を、観光庁が主催する「ロケツーリズムアワード」では、ロケ誘致や支援を進め、官民あがての取り組みが地域大賞を受賞しました。また、「全国優良畜産経営管理技術発表会」では、本市が積極的に推進している飼料用米の取り組みが評価され特別賞を受賞し、「全国学校給食甲子園」では、全国から応募のあった1,051団体の中から選ばれた1²団体で行われた決勝大会に、本市学校給食センターが出場し優秀賞を受賞しました。

本年も、これまで進めてきた施策が形となってまいります。施設の再編では、中央第二保育所とゆたか保育所を統合した「ふたば保育所」や、海上・飯岡消防分署を統合した「東部分署」が竣工し、小・中学校の再編では、干潟地域にある3つの小学校を統合した「ひかた椿小学校」の開校に向け、改修事業に着手したところです。

4月からは、いよいよ「第3期旭市総合戦略」がスタートします。新たな総合戦略では、将来都市像を「みんなで創る未来 ずっと大好きなまち旭く健康で心豊かな暮らし“ウェルビーイング”の向上」としました。ウェルビーイングは「身体的、精神的に健康な状態にあるだけでなく、社会的、経済的に良好で満たされた幸福な状態」を意味します。市民の皆様が心身ともに元気で、家族や職場、地域など、社会との温かい繋がりを含めた豊かさを感じられるまちの実現に向け、デジタル技術の活用やSDGsの視点も踏まえ、子ども・子育て支援や人口減少対策、産業振興や道路整備など、幅広く事業を展開してまいります。

次の10年、20年に向けた新たな一歩を踏み出すべく、本年も「チーム旭・オール旭」でまちづくりを進めてまいりますので、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

香取航空基地②

千葉県議会議員 高橋 秀典



前号(あさひ文学文化祭号)より

編成基地であった香取基地か

らは多くの部隊が前線に飛び立っていきましたが、南方での戦いが劣勢になるに従い、香取航空基地は

本土防空の要の基地のひとつとなっていきます。そして、香取基地から初めての特攻作戦へとつながっていきます。

香取航空基地②

一九四二年六月、主力空母四隻と多くの航空機・熟練飛行兵を失ったミッドウェイ海戦を境として、日本の連合艦隊はその機動力を失っていきます。以後、南方諸島に散在する基地を拠点として本土の最終防衛ラインとするためには、海軍航空隊の再編成が必要となり、香取基地はそのための拠点としての役割を担うことにな

りました。

そうした航空隊の一つに六〇一航空隊があります。

六〇一航空隊は、もともと空母艦載の航空隊としてマリアナ海戦に参加、機体と乗員を失いながらも台湾沖航空戦を経て、レイテ沖海戦で母艦を失ったのち、基地航空隊として香取航空基地において、目前に迫った硫黄島での攻防戦に参加することとなります。

二月十四日、飛行隊は松山から香取航空基地に転進しました。

二日後の十六日、関東一円に対し、米機動部隊の艦載機による大規模な空襲がありました。硫黄島攻略に先がけて、日本本土の航空戦力や工場を叩こうという「ジャンボリー作戦」です。これに対し、先発隊として香取に来ていた六〇一航空隊の一部も、他の部隊とともに迎撃にあたりました。

攻撃は三日にわたり、関東上空で空戦が行われました。結果、日本側で撃墜および地上撃破された機体は

百二十機を超え、アメリカ側も八十八機の機体を失いました。この闘いの中で、香取基地に着任したばかりの香取穎男大尉（茨城県出身）はゼロ戦で四機を撃墜したとの記録があります。

空襲一日目の夜、航空隊司令である杉山中佐は、各飛行隊長を司令部に集め、次のように伝えました。

「二日前の十四日、硫黄島に進出した米機動艦隊に對する特攻攻撃の準備命令を受けている。出撃機数は、戦闘機十二機、艦上爆撃機十二機、艦上攻撃機八機、出撃は二十日の予定、人選を急いでほしい」。

この杉山指令の言葉に對し、艦攻隊長の肥田大尉が大反対したといえます。内容は、「特攻は最後の手段として使用するべきである。空母部隊の飛行隊には本来の使用方法があり、特攻隊として使用するべきでない」と、いうものでした。しかしながら、司令部の命令に反対が通るはずもありません。すると肥田隊長は「私は先任隊長であり、経験も多いので、特攻隊指揮官に任命してくだ

さい」と申し出て、司令の前に座り込みました。すると今度は、艦爆隊の村川隊長が身を乗り出し「先任隊長は残るべきだ。特攻隊は機数も艦攻隊より多い艦爆が中心で行い、当然、私が指揮官になるべきだ」と言い、これまた座り込み、双方引かない勢いだったそうです。

（メモ）

香取航空基地が建設されたのは、昭和十七年。旭市鎌数工業団地内に跡地があります。南西・北東方向に1500mの滑走路と南東・北西方向に1400mの二本で互いの中央部が十字状に交差した特徴を持っています。西側に司令部等の主要建物がありません。

平成二十九年まで使用されていた銚子駅舎は、元々の駅舎が銚子空襲で焼失した後、戦後に旧香取航空基地の元格納庫を転用・改装して再建されたものでした。（ウィキペディア フリー百科事典より）

（次回へ）

三月に思う

旭市教育長 向後 依明



三月は、冬の寒さも徐々に和らぎ春の訪れを感じさせる、特別な月です。寒い季節が終

わりを告げ、心地よい風を感じます。旭市役所周辺の草木に目をやると、あちらこちらで新芽や花のつぼみが膨らみを増して、目を楽しませてくれます。冬ごもりをしていた動物たちも目覚める頃です。

この季節の移り変わりは、自然界だけではなく、私たちの心にも変化をもたらしてくれます。私は

三月になると、新たな出発や希望が感じられ、毎年異なる思いを抱きます。

三月は、卒業や新生活のスタートを迎える季節です。卒業式は別れの間でありながら、未来への希望に満ちた瞬間でもあります。友達や先生方との思い出を振り返りつつ、新たな希望や目標に向かって一歩を踏み出し歩み始める姿は、日本の三月の象徴と言えるでしょう。市内の学校でも盛大に卒業式が行われ、多くの感動的な瞬間が生まれます。その一方で、別れの寂しさを噛みしめていることも忘れてはなりません。

そして、三月は新たな出発の傍らで、様々な社会的な変化も見せる月です。年度末が近づく中で、多

くの人々が新年度に向けて、生活の環境を変える時期です。毎日の環境が変わることで、私たちの心にも不安と期待が混在します。新たな日常や人間関係

への不安は、焦りやストレスを引き起こすこともあります。しかし、こうした変化は、自分を成長させる大きなチャンスと、捉えることもできます。適度の

ストレスは、むしろ、脳の働きを活性化するという研究も発表されています。状況に応じて自分の行動や考え方を変えていくことで、さらなる成長に繋がるはずで

す。また、暖かくなることで、外出する機会も増える事でしょう。草花を愛でながら散歩をしたり、地域の活動に参加したりしながら、日々の忙しさの中で

忘れてしまいがちな自然の恵みに心を向け、感謝したいものです。

三月がもたらす変化を楽しみながら、自身の成長や人との繋がりを大切にしていきたいと思います。



芸文協文化芸術フォーラム

文化協会会長 花園 千名美

令和七年二月二十二日(土)青葉の森公園文化ホールで、令和六年度第三十五回文化芸術フォーラムが開催されました。例年のこと乍ら展示部門、ステージ部門があり、今回初めて旭市文化協会から「ナプアエピリクウレイ」の約三十名の会員が出演しました。応援、見学者の三十名と市バス二台を貸切で参加しました。

ロビー展示は、昨年と同じく千葉県がり版アート孔版画研究会、千葉県茶華道協会、流山市文化協会手工芸部さくら会。ステージは、千葉県三曲協会、紹介団体「艶舞座」、当旭市文化協会の「ナプアエピリクウレイ」のフラダンス、茂原市文化協会からは「茂原シニアアンサンブル昴」の四団体で約二時間。「ナプアエピリクウレイ」の皆さんは「オリアロハ」の祝福や歓迎の聖なる歌から始まり四曲を、微笑みを堪えた、のびやかな姿のフラは大変美しく、心地よい二十分に魅了されました。

終了後、千葉県芸文協吉本会長から、このように本格的なフラダンスのグループが活動されている旭市文化協会には素晴らしいとお褒めの言葉を頂き、大変嬉しく、誇らしく、胸を張って青葉の森文化ホールを後にしました。応援の皆様も帰りの車内は、事務局長高木さん、会計の平野さんの計らいで、くじ引きをしたり、筋力低下予防の発声練習をしたりで、一段と和やかに帰路に着きました。出演者はもちろん、応援の皆様、本当に本当にお疲れ様。ありがとうございました。



あれから四年を迎え

文化協会副会長 宮内 幸平

令和六年度は、新型コロナウイルス、インフルエンザの感染症が同時に流行して、小中学校では休校する学校もありました。コロナウイルス感染とインフルエンザ感染ががじわじわと蔓延し、新年度を迎えようとしている今日も流行は収まらないようです。

私は、今年で文化協会副会長を四年間務めさせて頂きました。主に美術部を担当し、いいおかユートピアセンターを会場として設営（パネルやテーブル）の準備をします。まず初めに、会員の皆さんから出品点数と題名を上げて頂きます。出品点数を数え目録の原稿を作ります。原稿作成が終わると印刷製本（印刷会社）をお願いします。目録原稿と出品点数を確認し、間取り（パネル・テーブル数）に合わせて、部屋の割り振り表を作成します。間取り図の作成確認、目録原稿薄作成、名札の作成と作業が次から次へと生まれてきますが、長年携わっているだけに作

成時間も早くなりました。一番大変なのは間取り図の作成ですね。私の愚痴はこの位で終わりにします。

先日、二月二十二日令和六年度、第三十五回文化芸術フォーラムが千葉県中央区青葉の森公園芸術文化ホールにて開催されました。この会場で、四団体（千葉県三曲協会・艶舞座・ナプアエピリクウレイ・茂原シニアアンサンブル昴）が発表し、旭市文化協会芸能部ナプアエピリクウレイのフラダンスも披露されました。市のバスをお借りして見学会を開催し、見事なフラダンスを堪能しました。昨年は千葉県芸術文化団体協議会に加入、視察会を行いました。今年も、今年もは舞台で披露することが出来ました。何れの団体も素晴らしい舞台でしたが、やはり我が団体が披露したものが一番心に残りました。

また来年も、再来年も続けて参加できますよう頑張ってくださいと思います。それには後継者育成に協力できるようにサポートしていきたいと思えます。

最後に会員皆様方の健康、発展を祈願いたします。

響き

文化協会副会長 堀川 咲子

静かに明けた令和七年、今年こそは平穩無事な一年でありたいと願いつつ……。

今日は私の趣味の一つである大正琴について記してみたいと思います。

大正琴は大正元年に明笛奏者だった森田吾郎氏が音楽を身近なものにしたいとの思いから発明されたもので、手頃な楽器で簡単な曲を一人で弾くことができ、巣ごもりの友として人気を博し、大ブームとなりました。

その後、第二次世界大戦で一旦は大正琴の火は消えませんが、昭和三十五年に作曲家の古賀政男氏が「人生劇場」を弾いたことで、再び脚光を浴びました（第二次ブーム）。昭和五十年前半にアルト、テナー、ベース大正琴を開発してアンサンブルを実現。一人で楽しむ楽器から大勢で楽しむ楽器に進化させると、空前のブーム（第三次ブーム）

が訪れて、日本の文化として定着しました。

大正琴最大流派である琴伝流の理念は「和して同ぜず、学びて遊べく」

個性ある人の緩やかな連帯により、指導者、生徒共に価値観の相違を認めあい、謙虚かつ柔軟に生涯に渡り学び続けるもの。百聞は一見に如かず、百見は一考に如かず、百考は一行に如かず。

大正琴は人を紡ぐ楽器です。音楽としての大正琴、いつもワクワクをキャッチコピーに、皆さんも是非始めてみませんか。



J A ちばみどり旭大正琴

飛躍した一年

事務局長 高木 健寿

本年度は当文化協会にとって飛躍の年となったのではないでしようか。

平成十七年に新旭市文化協会が設立し、その後は初めての会費変更。年度初めの総会で役員の方から承認を賜り、また、会費の集金にもご理解を頂き、円滑に会が運営できていますことに改めて感謝申し上げます。会費は五百円から千円に増額変更となりましたが、そのほとんどは例年三月に開催している芸能部発表会や、美術展に配分しましたので、参加費用の軽減などが図られ、今後一層の充実が期待されます。

夏にはイオンタウン旭から「夕涼みまつり」への協力依頼があり、芸能部は民謡・フラダンスなどの舞踊、美術部は押し花・ちぎり絵・写真・手工芸などの展示を行いました。

秋の文化祭は、平成十七年の第一回から数え、第二十回記念とし



イオンタウン旭での舞踊

て開催いたしました。開催した二会場にはウエルカムフラワーを展示し、来場者の皆様へ感謝の気持ちを込めました。

文化祭終了後の十一月四日には、記念祝賀会を開催し、米本市長をはじめ来賓の皆様ご臨席のもと歌も披露され楽しい宴となりました。

年が明けて二月二十二日、第三十五回芸文協フォーラムに当協会芸能部から「ナプア エピリクウレイ」の皆さんが出演しました。昨年度芸文協に加盟し、わずか二年目で出演の機会が得られ、喜ばしく思います。

昨年は視察としてフォーラムを見学に訪れました。今回は応援の意味を込めて、鑑賞会への参加を募りましたところ、昨年同様三十名の参加申込がありました。出演する皆さんと、鑑賞する方と、それぞれ市バスにて青葉の森公園に向かいました。出演は三番目、四曲続けての演出に感動を覚えました。

例年にはない事業が多々ありましたが、行事のたびに新しい出会いもあり、充実した一年を送る事ができたと、皆様のご協力に感謝いたします。



祝賀会での乾杯の発声

一年間の行事

芸能部長 平野 和三郎

芸能部長として一年間の行事を報告します。

昨年九月十六日敬老大会が「東総文化会館」で行われました。前年度までは、海上地区、飯岡地区、旭地区の三カ所で行われていました。今年度からは一カ所のみで行われ、午前、午後と芸能部の発表があり、演目の最後に民謡会の演奏で、大漁節が流れ会場一体となり、大盛況の内に終わりました。

十月二十六日、二十七日に第二十回記念旭市文化祭が開催されました。二日間とも観客数が前年度より少なく感じました。発表が終わった団体も、そのまま帰らずに、会場に残って観覧していただき、他の団体発表も応援して頂きたいと思います。

十一月三日、第二十回記念旭市文化祭美術展に会場で

あるユートピアセンターに出かけました。色々な展示作品を見て回り、特に興味のあった写真展に行き、特別出品の旭市長、文化協会会長、秘書広報課の写真、更には、あさひフォトクラブ、ニューフォト東総、干潟写真部の素晴らしい作品を見せて頂き、楽しい時間を過ごす事ができました。

本年の二月二十二日、芸文協主催の第三十五回文化芸術フォーラムに、当協会芸能部会員であるダンスの部から「ナプアエピリクウレイ」の皆さんが出演しました。市バスで応援に行き、フラの皆さんに素晴らしい演技を見せて頂きました。

今年度最後の行事として、三月二日第十九回芸能部発表会が行われ、観客数も多く一安心しました。

一年間、発表会に協力を頂いた実行委員、役員の方々、大変御苦勞様でした。次年度の行事も会員皆様方の協力を得ながら、力を合わせ進んでまいりたいと思います。

二期四年を振り返って

美術部長 加瀬 なを

七年度の総会を迎え、美術部長としてこれまでの四年を振り返ってみます。

コロナウイルス感染症が猛威を振るい、大騒動の中からの出発でした。伝統的な催し物、近所の人や隣人、友人とのマスク越しの対面。日頃の練習成果の発表の場所も使えず、これからどうなるのかと毎日毎日が不安でいっぱいでした。でも縮小しながらも活動を続けました。好きな方達の集まり、気をつけながら続けてきて良かったと思えました。

私としての三十年間の押し花活動、令和五年度の「文化旭」でも紹介していただいた通り、若さという事の中、無謀だったことも多かったように思いますが、今となると走馬灯の様に思い浮かび、なつかしく、思い返されます。

今の自分の健康に感謝しつつ、生花で一度、押して二度、楽しめる喜びに、もう少し続けたいと思っています。又、会員の増員につなげるためにも今度は、周りから応援したいと思います。今までお世話になりました会長をはじめ、役員の皆様ありがとうございました。

文化協会の益々の発展を期待申し上げます。



道の駅「季楽里」に飾られた押し花作品

発表の場

文芸部長 相沢 弘幸

文化協会文芸部には、俳句サークル四団体、短歌二団体、随筆・郷土史二団体の計八団体が所属しています。それぞれに工夫を凝らし会合の場を設け活動しています。非集合形式（オンライン）で活動する団体もあります。大切な事は発表する場があるということだと思います。新聞や雑誌に個人的に投稿する場もありますが、身近なところで、自身が作った作品を発表する場があること、そして、お互いに忌憚のない意見、感想を述べる場があることが大切なことだと思います。時には褒められたり、けなされたりすることもありますが、総じて楽しい時間を共有することができます。

昨年末より「公民館だより」に文芸コーナーが新設され、サークルに所属している団体からの作品が掲載されることになりました。それぞれのサークルの中で揉まれた作品がさらに「公民館だより」により多くの市民の目に触れることになり、一層の気持ちのこもった作品ができるこ

とを期待したいと思います。

発表する場がある、これは作品を創らなければならぬということにもなりますが、例えばロードレース大会に出場するとなれば、少しは体を動かしておかなければと思家の周りをジョギングすることになるでしょう。いきなり大会には出られないでしょう。発表する場がある、同じようにいきなり作品はできません。ふだんの生活の中から物を見つめたり、あれやこれやと思いつくこととなります。ふだん見過ごしていた何気ない物に、ふと目が行く。その美しさ、健気さに感動することもあるでしょう。もしかすると、怒りにふるえることもあるかもしれません。その全てが準備運動であり、文芸作品の創作に繋がります。

最後にある俳人のことばを引用します。

「俳句は内観だと思う。気付かない自分を気付かせてくれる。私は私。誰でもない私だ。と気付かせてくれた。明日という日があるということも気付かせてくれた。俳句を作るようになって、生きている、という確かな日常を過ごすことができている」

茶の湯つれづれ

茶華道部長 石毛 千恵子

茶の湯出あつて六十年弱。

生活様式がだいぶ変わったこの頃、今では畳に炉を切ったり、普段から釜を据えてお茶をたてることは難しくなりつつあります。茶の湯、人と人が互いに誠意を尽くして交わる芸道だという。茶席を設え茶道具を整えて客をもてなす。亭主の趣向によって組み合わせ、客を迎え入れる。茶事、茶席に入ると客はまず床前に進みます。床の掛物、花を拝見します。次に、道具置へと進み点前道具を拝見します。席中の道具は茶会に沿って亭主が心を込めて揃えたものです。その心入れに感謝する気持ちを持って拝見します。亭主は心を入れて茶を点て、客も一服の茶を味わいます。

客として茶事、茶会に招かれる事は今では数多くあります。その中で「掛物ほど第一の道具はなし」と利休居士のお言葉にあるように掛物が心に残ります。

「日々是好日」来る日も来る日も毎日が人生最良の日だということ。しかし、毎日が楽しいことづくめなどという人生はまずあり得ません。喜びよりも苦しみ悲しみの多いのが人生の実相です。これを凡夫は「人生は楽しむものなり」と考えるのに対して、真の禅者は「人生は単に楽しむものではなく味わうものである」。しかも悲喜苦とも味わおうとするのです。（清水公照、奈良東大寺長老説法より）このように人生を味わって生きるならば順境、逆境もまた風流で日々好日であるということですね。相当修行を積んで悟りの世界観を開いたお方に、はじめて言い得る言葉、説明のおよばない深いものがあります。

雲門禪師の申された語に「笑う時には笑う」「泣く時には泣く」「怒る時には怒る」

茶の湯の世界、深めれば深めるほどに広がりを持った世界です。自分なりに茶の湯の世界を味わいたいと思います。初心に戻り心新たにのぞんでおります。

華道いけばな

茶華道部 實川 芳枝

五百五十年を優に越える長い歴史と伝統ある華道家元池坊に入門して四十年以上が過ぎました。

令和七年一月五日、初生け式に参加してきました。毎年の門弟の集まりの一つですが、全国から小学生から九十歳まで、八百名ほどの参加者でした。規模の大きさと皆さんの熱意に感動して帰ってきました。

海上町の文化祭の時から現在にいたるまで、長くいけばなとお茶会に参加させていただきました。いけばなを通して師匠である浪川静子先生との出会いがあり、社中の多くの皆さんとの出会いもあり、多くの経験をさせていただき勉強させていただきました。旭市が合併してからは、社中として参加させていただくようになり、発表する環境も変わりましたが、たくさんの市民の皆様に見てい

ただけるようになっていくといいなあと思っています。

花をいけることは、美を求める心に充実感を与えることでもあり、いけることに集中している時、日常から解放される喜び、いけた花によって心満たされる優雅な思いは、何物にも代えがたいものです。いけばなの表現する時、四季折々に咲く、かきつばたや菊の花、葉の色の濃淡、花や葉の付き方、花の色に季節の趣を考えながら、草木の美しさを捉えながら表現していきます。

近年、お正月に花を飾らない家もあるそうです。長く続けていく私たちは、少しでも外に発信していかなければならないと思っています。

令和六年十二月十六日華道が国の無形文化財として登録されました。華道の伝統的なわざの保存と、次世代へ継承するための活動が、華道界全体で取り組むようになるそうです。私たちもその一員として活動して行きたいと思っています。

千葉県文化芸術フォーラムに

参加して

ナプアエピリクウレイ 鶴月 実千代

二月二十二日（土）千葉県芸術文化団体協議会主催の第
三十五回文化芸術フォーラムに参加させていただきました。
今年 は古典フラ・カヒコに取り組みことを目標に練習を
積み重ね、旭市の文化祭に発表しました。イブヘケという
楽器をたたいて、生歌で踊る。踊り手もチャントを唱えな
がら登場し、歌いながら踊る。なんとも神聖なフラの世界
を作り上げました。それがとても良かったと好評を得て、
今回の出演につながりました。

当日は、文化協会から大勢の応援団の方々に鑑賞してい
ただき、そして大きな声援のなか、とても気持ちよく踊れ
ました。舞台スタッフからも、このような本格的なフラは
見たことがない。一緒に歓声を上げたくなった。等、お褒
めの言葉をいただき、とても充実感と達成感で感極まりま

した。遠いところからの応援ありがとうございました。

正直、慣れないハワイ語を覚えたり、受験勉強の合間に
歌や初めての楽器を覚えたり、それぞれに大変でしたが、
このような喜びを得ることができ、次への意欲やフラへの
思いが強くなりました。また頑張りたいと思います。



フラの成功を祈って神に捧げる

カヒコ オリ チャント

短歌と健康・食と美を

しのび坂短歌会 加瀬 教子

令和元年、当時文化協会の会長をされていた篠塚益治さんからお誘いを頂き、「しのび坂短歌会(椿の会)」として、仲間入りをした最年少の会です。会の愛称を「しのび坂短歌会」としたのも、丁度その頃でした。「しのび坂短歌会」の名称は、江畑医院・恵天堂前の坂「しのび坂」に由来しています。

短歌会は「歩道」の名称で昭和五十四年頃から始まり、最初は江畑耕作先生のご自宅に伺い、平成に入ってから恵天堂に会場を移して行ったそうです。私は入会して十年の若輩者ですが、その頃は十数名の会員がいて、月に一度、高台にある恵天堂に集まり、先生より直々に丁寧なご指導を頂いていました。「歩道合同歌会」も定期的に開催され、江畑耕作先生には平成二十九年まで四十年に亘りご指導を頂きました。

現在、「しのび坂短歌会」の会員は八名で『歩道』鈿子

支部」の川村俊子さんのご協力・ご指導を頂き、定例会を行っています。食事会を兼ねて毎月一回、メンバーが集まります。会場に入ると、最初の楽しみである昼食のメニューを選びをします。それから、全員の短歌が印刷された用紙（締切日までに取りまとめ責任者のもとに送り、当日用で作成されたもの）を広げ、順番に各自二首ずつ短歌を読み上げます。作者のその時の状況や心情の説明を加え、みんなで短歌の内容を共有し合います。表現や短歌言葉についても、川村さんからアドバイスを頂き、充実した楽しい会を続けています。美味しい物を食べて幸せ気分になり、話に花が咲きます。話は、デザートタイムまで続きます。

短歌の題材は、人(家族・友人)、自然(花・鳥・野菜)、世相等様々ですが、多く話題にあがるのは、やはり健康のことです。「短歌会に出席してみんなに会う」「美味しい物を食べて楽しい話題で笑顔になる」「感謝の気持ちや美を感じる心を持ち続ける」事が、私たちの短歌会です。短歌を楽しむことが、健康・元気の源となっています。

令和6年度第20回記念旭市文化祭開催

令和6年10月26日から11月3日にかけて、第20回記念旭市文化祭が市内2会場で開催されました。

芸能発表は昨年並みの148曲が披露され、特に今年はコーラス部門が充実した内容で、観客の皆さんは聴き入っていました。

第20回を記念し、美術部では芸能発表に合わせ、東総文化会館でも展示を行い、出演者や観客の皆さんが鑑賞されました。

また、来賓の皆様には各会場をご高覧頂き、10月26日の芸能発表の折には東総文化会館大ホールでご挨拶を頂きました(写真)。



米本市長



飯嶋議長



高橋県議



向後教育長



花園会長

芸能部門

開催場所 東総文化会館 大ホール

開催会期 令和6年10月26日(土)、27日(日) 9時30分～16時



ブルーエコーズ・ハーモニーなでしこ合同



JA ちばみどり旭大正琴さくら会



ナ プア アロヒロヒ

| 団体名 | 曲数 | 延出演者数 | 団体名 | 曲数 | 延出演者数 |
|----------------|----|-------|---------------------|-----|-------|
| 日本修道流 修栄会 | 2 | 2 | 紫扇会 | 1 | 2 |
| 三味線 藤栄会 | 4 | 18 | 舞姫会 | 1 | 6 |
| 日本修道流 桜吟会 | 1 | 2 | 千代若会 | 1 | 1 |
| 安来節同好会 | 1 | 5 | みどりコーラス | 6 | 30 |
| 椿の海 | 5 | 17 | あさひ少年少女合唱団 | 5 | 38 |
| 袋カラオケ愛好会 | 6 | 6 | ブルーエコーズ | 3 | 17 |
| つばめ歌謡会 | 7 | 7 | ハーモニーなでしこ | 3 | 27 |
| 築詩の会 | 3 | 3 | ブルーエコーズ・ハーモニーなでしこ合同 | 4 | 43 |
| 東総歌謡研究会 | 7 | 7 | フィオ サンライズ | 7 | 89 |
| 歌謡旭クラブ | 10 | 10 | オリレイ フラサークル | 2 | 22 |
| マリーナカラオケ会 | 5 | 5 | ピリ アロハ | 1 | 5 |
| 海上歌謡虹の会 | 6 | 6 | ナ プア ヒヴァヒヴァ | 5 | 71 |
| 歌謡教室 秀花会 | 2 | 2 | こひつじシスターズ (園児等) | 4 | 133 |
| 宮カラオケ友の会 | 5 | 5 | ナ プア エ ビリ クウレイ | 6 | 63 |
| みなとカラオケ友の会 | 3 | 3 | N's ジャズダンス | 8 | 75 |
| JAちばみどり旭大正琴クラブ | 4 | 44 | コアラ ヌイ フラ スタジオ | 2 | 20 |
| 海上琴音会 | 2 | 14 | タイダルランドフラサークル | 1 | 4 |
| 養和琴の会 | 2 | 26 | ひまわり会 | 2 | 14 |
| カルディオ ドラミング | 2 | 20 | ナ プア アロヒロヒ | 3 | 32 |
| あさひ舞踊会 | 6 | 8 | 小計 | 65 | 692 |
| 小計 | 83 | 210 | 合計 | 148 | 902 |

出演 148曲 延べ 902名 入場者数 1,300名

美術部門

① 開催会期

令和6年10月26日(土)～27日(日)

開催場所

東総文化会館

| 出品団体会員名 | 出品点数 | 出品団体会員名 | 出品点数 | 出品団体会員名 | 出品点数 |
|-----------|------|-------------|------|------------|------|
| 創美会 | 2 | ニューフォト東総 | 7 | 千潟陶芸クラブ炎の会 | 9 |
| 古民家美術館飯岡 | 3 | 雅押し花会 | 14 | 窯香会 | 3 |
| アトリエ MARI | 3 | 旭陶会 | 15 | なでしこの会 | 27 |
| 東総書道会 | 6 | 海上日曜陶芸教室 | 15 | アメリカンフラワー | 4 |
| 秀泉書院 | 3 | 飯岡ユートピア陶芸講座 | 12 | 合計 | 123 |



東総文化会館 1階 押し花作品



東総文化会館 2階 書道作品

② 開催会期

令和6年11月2日(土)

9時～16時

令和6年11月3日(日)

9時～15時

開催場所

いいおかユートピアセンター



アメリカンフラワー



手編み作品



パンフラワーなどの展示



陶芸作品

事業内容

| 出品団体会員名 | 所属会員数 | 出品点数 | 備 考 |
|-------------------|------------|------------|------------------|
| 創美会 | 9 | 8 | |
| 雅押し花会 | 40 | 39 | |
| アトリエ MARI | 8 | 10 | 内2点は児童・生徒の作品 |
| 干潟ちぎり絵の会 | 12 | 27 | |
| 古民家美術館飯岡 | 10 | 7 | |
| 東総書道会 | 81 | 76 | |
| 旭書院 | 4 | 4 | |
| 秀泉書院 | 13 | 13 | |
| うなかみ幼稚園書道会 | 6 | 32 | 内28点は園児・児童・生徒の作品 |
| 干潟地区書道会 | 13 | 14 | |
| あさひフォトクラブ | 10 | 10 | |
| ニューフォト東総 | 21 | 17 | |
| 干潟写真部 | 4 | 4 | |
| 旭陶会 | 11 | 80 | |
| 海上日曜陶芸教室 | 18 | 100 | |
| 陶遊会 | 4 | 15 | |
| 飯岡ユートピア陶芸講座 | 12 | 80 | |
| 干潟陶芸クラブ炎の会 | 9 | 60 | |
| 窯香会 | 10 | 80 | |
| なでしこの会(和紙人形) | 13 | 52 | |
| アメリカンフラワー | 10 | 16 | |
| 飯岡和紙人形サークル | 5 | 32 | |
| 手編みサークル | 15 | 50 | |
| パンフラワーの会 | 5 | 35 | |
| 展示数 | 343 | 861 | |
| 特別展示(市長・秘書広報課・会長) | | 8 | |
| 総展示数 | | 869 | |

美術活動啓蒙の為、市長・秘書広報課・文化協会長の写真作品を展示した(写真左手前)。



文芸部門

開催会期 令和6年11月2日(土)・11月3日(日)

開催場所 いいおかユートピアセンター

- ・パネルに俳句作品の短冊78点を展示しました。
- ・旭市の歴史や文化についてのクイズや俳句のアンケートを行いました。
- ・文芸誌「あさひ文学」230部を発行し、美術展会場でも配布しました。



短冊の展示

茶華道部門

華道 開催会期 令和6年11月2日(土)・11月3日(日)

開催場所 いいおかユートピアセンター

池坊、草月流、小原流18点を展示しました。

茶道 開催会期 令和6年11月3日(日)

開催場所 いいおかユートピアセンター

表千家 鈴木社中が茶席7席を設けました。茶室の席は18席程度、記名による予約順とし、待合場所を和室内に設けました。



華道作品の展示



茶室の様子

囲碁

開催会期 令和6年11月2日(土) 9時～16時

開催場所 いいおかユートピアセンター 2階

会員6名が対局し交流しました。

対局の様子を見学する方もあり会員との交流が図られました。



対局の様子

入場者数 830名 (美術・文芸・茶華道・囲碁)

令和6年度 第19回チャリティー芸能部発表会 東総文化会館大ホールで開催

第19回チャリティー芸能部発表会は令和7年3月2日(日)に開催され、昨年と同数の91組の会員により民謡・歌謡・舞踊・ダンスなどが発表されました。

最強寒波が訪れ、今年も寒暖差の激しい日々の中、当日は暖かな天候に恵まれ、出演者が出演の前後に鑑賞するなど、参加された会員のご協力もあり、昨年よりもさらに観客数が増加したように感じられました。

来賓及び主催者あいさつの様子



米本市長



飯嶋議長



高橋県議



向後教育長



宮原社協会長



花園会長



平野芸能部長

発表の様子



椿の海



ひまわり会



紫扇会



舞姫会



ナ プア ヒヴァヒヴァ

チャリティー募金 総額 71,853 円

会場で行われたチャリティー募金には、来場者から温かい寄付が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

芸能発表当日には、平野芸能部長から宮原社会福祉協議会長へ募金の目録が手渡されました(写真右)。



チャリティー募金を行う受付の様子



目録を手渡す平野芸能部長(左)

令和6年度第19回チャリティー美術展

令和7年3月8日(土)、9日(日)に開催

美術展は7日に準備し、8日、9日の2日間「いいおかユートピアセンター」で開催されました。

展示数は、陶芸部門が昨年より100点ほど増加しましたが、2階ホールは昨年並みで、ゆとりある展示となりました。

また、7回目となる生涯学習講座の作品展示は、目を見張る素晴らしい作品が、今回も多数展示されました。

来場者は、2日間で昨年より多い728人でした。

チャリティー募金には、たくさんの方からご協力いただき、ありがとうございました。

| 美術展の展示数 | |
|---------|------|
| ◎特別展示 | 8点 |
| 市長 | 1点 |
| 会長 | 1点 |
| 広報提供 | 6点 |
| ◎会員展示 | 757点 |
| 絵画 | 24点 |
| 押花 | 38点 |
| 書道 | 129点 |
| 写真 | 17点 |
| 陶芸 | 425点 |
| 手工芸 | 124点 |
| 展示数合計 | 765点 |



二階展示会場



陶芸作品展示

生涯学習講座展と併催

美術展の開催に併せて、教育委員会生涯学習講座の作品展示を行いました。書道・絵画・手芸・文芸・折り紙など、12講座、約300点もの作品が2階ロビーなどに展示されました。



絵手紙講座の作品



華道作品(手前)とアメリカンフラワーの展示



お茶席の様子

華道部は16点を展示

華道部は器にもこだわった優雅な16点の作品(池坊・草月流・小原流)が展示されました。

茶道(呈茶)は8席(120人)を提供

呈茶は3月9日(日)に、裏千家 浪川静子社中が茶席を設け、お客の皆さんはおもてなしの気持ちを感じる、ゆったりとした雰囲気を楽しんでいました。

文芸部は「あさひ文学」140部を発行

会場でも希望者に「あさひ文学」を配布したり、展示した俳句の解説をしたりするなど、文芸の普及啓蒙に努めました。



来賓に文芸作品の前で説明する様子

受付でチャリティー募金

しおりをプレゼント

以前実施していた、写真や陶芸作品などの抽選によるプレゼントは、今回も行わず、受付に募金箱を設置し、募金時に「雅押花会」制作のしおりがプレゼントされました。



受付の様子

募金総額 95,400円

来場者の方々から寄せられた浄財は、3月12日に宮内副会長が社会福祉協議会を訪れ、全額寄付しました。ご協力ありがとうございました。

社会福祉協議会へ寄付

令和七年三月二日の第十九回芸能部発表会、三月八日、九日に開催された第十九回美術展で、それぞれチャリティー募金が行われ、寄せられた寄金は三月十二日に役員が社会福祉協議会を訪れ手渡されました（写真左）。



社協
事務局長

宮内幸平
副会長

平野和二郎
芸能部長

福祉への貢献

旭市文化協会所属団体

第二十回旭市社会福祉大会が令和六年十一月十六日に東総文化会館大ホールで開催され、文化協会から所属六団体が表彰されました。

市長表彰

歌謡旭クラブ

会長表彰 篤志寄付功劳

あさひ舞踊会

会長感謝状 篤志寄付功劳

旭市文化協会芸能部

旭市文化協会美術部

東総歌謡研究会

合同歌謡会

俳句 山火俳句会

浜売りの入梅鰯脂のる 石橋 孝子

まだ薄き緑の失せず散り銀杏

枝先に櫛の芽ほぐれ母の里 飯田芙美子

九十九里風ぎて音なし後の月

俳句 さざなみ俳句会

真似て見る仁王の拳冬隣 鈴木 和江

人住まぬ家に井戸あり水仙花

己が齡尋ねし母の初鏡 諸持耕太郎

友らみな昭和のかほや木の葉髪

六道の時空に響け除夜の鐘 相沢 弘幸

「火垂るの墓」背すじ正して視る真夏

何年ぶり主婦の顔して障子貼る 伊東 禮子

ノラ猫が家猫もどき春隣

オレフの枝の玉響たまゆらや淑氣満つ 石井 敬子

寒椿たをりし枝を一挿しす

爽やかに全力尽くしノーサイド 石井 孝

干拓や新米掬ふたなごころ 掌

手術後に放屁一発初笑ひ 大後 秀樹

菜種梅雨糠床かへす母の指

秋霖や指名手配の眼の並ぶ 岡 邦俊

銀漢やひとり天刺す槍ヶ岳

爽涼や駒音高く初王手 岡野 京子

短夜の貝の口あく厨かな

寒木瓜の細枝しもとにこぞり実つけをり 鎌田とみ子

するりするり一条落つる冬ひとすじの蜘蛛

母眠る菩提寺の裏竜の玉 栗栖 峰子

嫁ぎ来て姑ははから習いし雑煮膳

夕映えや寄せ鉢に有る冬すみれ 佐久間松枝

冬麗ら北国は雪積もるだけ

様々の鳥を遊ばせ庭小春 高野 一枝

写経了へ筆を洗いて除夜の鐘

爽やかや浦風そよぐ朝の庭 高野寿美子

シャンソンに若き日想ふ春隣

初詣拝礼深き脇の人 高野 富子

巳の年や静かに始まる三ヶ日

春嵐マグマが眠る無言館 滝澤 昇

春の果野見山暁治無言館

煩惱の行きつ戻りつ除夜の鐘 並木 紋子

初夢の続き見たくて二度寝せり

やはらかく師の声聞こゆ秋彼岸 林 利恵子

おむすびと新茶の香り笑顔満つ

茶室へと飛び石続き吊忍 平山 伸

ケアマネの声掛け優し赤い羽根

香嵐溪らせんの風に散る紅葉 深堀 和子

一番船能登に漕ぎ出よ宝船

うぐひすや風の集まる岬道 松本 祥子

けずられし断崖染めて寒茜

残る月兎の餅屋店じまい 柳堀 節子

寒風や戦艦いくさぶね持つこの辛き

醤油だれじつくり焼上げ穴子食ぶ 吉田 哲子

鈴生りの切り戻したる秋茄子

俳句

春蕾俳句会

風凄きつらき吹く十二月 宮負 克己

宴席の多さが自然十二月

バスを待つ夕霧深き街灯下 石毛せつ子

白萩の四方になびく風の色

耳遠き声明るくて鯛雲 花香 竹夫

荒涼と照るも冬田の空締まる

大浴場玻璃戸の外の谷朧 菅谷 茂穂

狭田道藪鶯の鳴き稽古

泡立草暴れる空の青さかな 花香 静子

弔問を猫が迎えし菊の庭

八十路坂越す重き足梅雨の中 荒木 悦子

植え終えし広田に映る里明かり

風に乗り響くエンジン田水張る 花香 勝夫

儂さやかげろうの羽根水の如

料峭や朝市復興まず一步 佐伯 洋子

ベタ風の九十九里浜星が飛ぶ

杖ふたつ静かにやすむ日の盛り 衣鳩 順一

光らせて二十歳のピアス夏祭

天高し庭師奏でる鋏の音 薄田美津子

碧落を突き刺す如く冬木立

友逝きし黒揚羽飛び風と消え 前田 春代

秋高し児等登校の声響き

次郎柿よその渋さが生がいだ 阿部 三郎

大利根や大きな空大きな秋

冬ざれや枯枝ひとつ折れる音 銀原 俊

雨粒の水面に落つる木の葉かな

鷺漁る広田静かや鯛雲 藤井 愛子

狭庭舞ふ落葉連れ去る夕日かな

秋澄むや嬰兒の声の高らかに 井沼 雅子

落葉積む肥やしとなれや土となれ

俳句 椿の会

笹鳴きが藪に飛び交ふ道すから
荒木美枝子

京の旅捲るパンフの花かがり
松過ぎて鏡の中に疲れ見ゆ
花園千名美

春節や獅子銅鑼に舞ふ中華街
満月や語りかけたき思ひあり
浪川 秋花

鋤焼や今宵小さきき幸祝ふ
花筏はらはら舞いぬ池のふち
宮内 幸平

満開の夜桜照らす灯り無く
掃き寄せて落葉ぬくしと思いきり
守部 洋子

寒雀来ているいつものへだたりに
今日もまた夕立逃げて水やりか
伊藤あき子

庭先のミカン色づき冬来たる
折り目なき手帳の白ひ年用意
高木 健寿

泣き止みて眠る乳飲み子冬うらら

鈴虫のただ一匹の声侘し
和 日 和

野仏の一輪ざしや吾亦紅
病む妻の我が儘許す帰り花
渡邊 耕佑

白鳥の動きて堰をかがやかす
秋の空三角錐のマッターホルン
早川 悟

秋晴れにババと孫行くマルクト広場
朝日射し雲海の富士雪まぶし
高品 彩

髪飾晴着木履初詣
門付けの三味を持つ手の悴みて
相沢 弘幸

パリの夏「勝利の鐘」の美しき腕

川柳 椿の会

電線に並ぶ燕や腹白し
守部 洋子

短歌

しのび坂短歌会

元旦の朝の清しき身に受けてこの一年の息災祈る
咲く花の乏しき庭に香を置きて柵の花音無く散りぬ
元旦の夜空に明るく三日月と金星暫し耀きいたる
集いきて賑わい楽し孫子等のまぶしき若さ暫しみており
緑葉を抜きん出て庭に櫛はぜ立てり今年も見事にいろ耀やか
斎場に季節外れの桜咲く叔母の旅立ち見守るが如し

坂本 昌子

藤井 和子

増田 満里子

仲村 克子

八木 佐和子

加瀬 教子

短歌

真心短歌会

武者修業恩師は言う勝つ事はよく当る事被害の少い事
荒くれや生涯真面目に馴れよと搾き罩めし暁闇の声あり

宮負 克己

花香 竹夫

令和6年度会員名簿

(順不同)

令和7年2月1日現在

| 芸能部 | 44団体 | 718人 |
|-------------------|-------------|-------------|
| 民謡・吟詠 | 7団体 | 73人 |
| 旭民謡会 | 加瀬 洋太 | 14 |
| 日本修道流吟詠会旭支部 | 仲村喜久衛 | 3 |
| 日本修道流 修榮会 | 服部 節子 | 6 |
| 三味線 藤栄会 | 小林 栄 | 18 |
| 日本修道流 桜吟会 | 小久保文子 | 3 |
| 安来節同好会 | 島田 和子 | 5 |
| 椿の海 | 伊藤 勇 | 24 |
| | | |
| 歌謡 | 11団体 | 218人 |
| 袋カラオケ愛好会 | 平野和三郎 | 22 |
| つばめ歌謡会 | 平野 隆雄 | 25 |
| 築詩乃会 | 鶴澤 照子 | 12 |
| 旭めぐみ会 | 金子 清輔 | 8 |
| 東総歌謡研究会 | 宇畑 信行 | 26 |
| 歌謡旭クラブ | 宮崎 幸一 | 45 |
| マリーナカラオケ会 | 伊藤 綾子 | 20 |
| 海上歌謡虹の会 | 在田 栄治 | 23 |
| 歌謡教室 秀花会 | 田中 秀規 | 7 |
| 宮カラオケ友の会 | 宮内 勝重 | 20 |
| みなとカラオケ友の会 | 佐久間俊雄 | 10 |
| | | |
| 大正琴・箏曲・バンド | 6団体 | 96人 |
| JAちばみどり旭大正琴クラブ | 堀川 咲子 | 34 |
| 大正琴美咲会 | 遠藤 栄子 | 15 |
| 海上琴音会 | 井上みち子 | 10 |
| JAちばみどりなでしこ琴の会 | 嶋田 春子 | 14 |
| 養和琴の会 | 植田 久子 | 12 |
| カルディオ ドラミング | 佐々木文子 | 11 |
| | | |

| 舞踊 | 5団体 | 102人 |
|---------------|-------------|-------------|
| あさひ舞踊会 | 花園千名美 | 70 |
| 紫扇会 | 藤村吉素代 | 10 |
| 舞姫会 | 若柳 智歳 | 6 |
| 華吉会 | 若柳 吉美 | 13 |
| 千代若会 | 川藤千代若 | 3 |
| | | |
| コーラス | 4団体 | 64人 |
| みどりコーラス | 加瀬 一美 | 21 |
| あさひ少年少女合唱団 | 林 麻知子 | 4 |
| ブルーエコーズ | 平沼千恵子 | 14 |
| ハーモニーなでしこ | 小林 君江 | 25 |
| | | |
| ダンス | 11団体 | 165人 |
| フィオ サンライズ | 景山 初枝 | 38 |
| オリレイ・フラサークル | 林 由美子 | 11 |
| ピリ アロハ | 長谷川京子 | 5 |
| ナ プア ヒヴァヒヴァ | 向後 政子 | 22 |
| こひつじシスターズ | 柴田 洋子 | 1 |
| ナプア エピリクウレイ | 山田 幸子 | 26 |
| N'sジャズダンス | 林 美佐代 | 20 |
| コアラヌイフラスタジオ | 高木はる子 | 10 |
| タイダルランドフラサークル | 宮負喜美子 | 4 |
| ひまわり会 | 伊沢百合子 | 12 |
| ナ プア アロヒロヒ | 石橋真理子 | 16 |
| | | |

| | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 美術部 | 25団体 | 348人 |
| 絵画 | 5団体 | 79人 |
| 創美会 | 伊藤あき子 | 9 |
| 雅押し花会 | 加瀬 なを | 40 |
| アトリエ MARI | 伊藤眞里子 | 8 |
| 干潟ちぎり絵の会 | 岩崎 京子 | 12 |
| 古民家美術館飯岡 | ユン ソベ | 10 |
| | | |
| 書道 | 6団体 | 121人 |
| 東総書道会 | 大野 耕作 | 81 |
| 香葉書道会 | 加瀬 教子 | 4 |
| 旭書院 | 濱野 文雄 | 4 |
| 秀泉書院 | 加瀬 里美 | 13 |
| うなかみ幼稚園書道会 | 浪川満寿枝 | 6 |
| 干潟地区書道会 | 高木 健寿 | 13 |
| | | |
| 写真 | 3団体 | 36人 |
| あさひフォトクラブ | 米本 雅男 | 10 |
| ニューフォト東総 | 早川 悟 | 22 |
| 干潟写真部 | 佐伯 等 | 4 |
| | | |
| 陶芸 | 6団体 | 64人 |
| 旭陶会 | 宮内 敦 | 11 |
| 海上日曜陶芸教室 | 菊地 輝幸 | 18 |
| 陶遊会 | 加瀬 昇 | 4 |
| 飯岡ユートピア陶芸講座 | 鈴木 敏明 | 12 |
| 干潟陶芸クラブ炎の会 | 角崎 武男 | 9 |
| 窯香会 | 山口 純一 | 10 |
| | | |
| 手工芸 | 5団体 | 48人 |
| なでしこの会(和紙人形) | 熱田 豊子 | 13 |
| アメリカンフラワー | 水野 敏子 | 10 |
| 飯岡和紙人形サークル | 及川 和子 | 5 |
| 手編みサークル | 吉川 小枝 | 15 |
| パンフラワーの会 | 伊藤富美子 | 5 |
| | | |

| | | |
|-------------|-------------|------------|
| 茶華道部 | 14団体 | 60人 |
| 浪川社中 裏千家・池坊 | 浪川 静子 | 13 |
| 井橋社中 裏千家 | 井橋千代子 | 6 |
| 鈴木社中 表千家 | 鈴木 京子 | 6 |
| 椎名社中 表千家 | 椎名 和子 | 7 |
| 石毛社中 表千家 | 石毛千恵子 | 5 |
| 嶋田社中 池坊 | 嶋田喜久代 | 4 |
| 堀川社中 池坊 | 堀川 咲子 | 5 |
| 菱木社中 池坊 | 菱木美智江 | 2 |
| 實川社中 池坊 | 實川 芳枝 | 2 |
| 高野社中 池坊 | 高野 衣里 | 2 |
| 平野社中 池坊 | 平野 美穂 | 2 |
| 馬淵社中 池坊 | 馬淵美恵子 | 2 |
| 伊藤社中 草月流 | 伊藤 清美 | 2 |
| 飯島社中 小原流 | 飯島知恵子 | 2 |

| | | |
|------------|------------|------------|
| 文芸部 | 8団体 | 87人 |
| 東総郷土史研究会 | 千本松 稔 | 15 |
| 椿の会 俳句 | 荒木美枝子 | 12 |
| 山火俳句会 | 飯田芙美子 | 2 |
| さざなみ会 | 滝澤 昇 | 32 |
| 海への会 | 渡邊 昌子 | 5 |
| 真心短歌会 | 宮負 克己 | 2 |
| 春蕾俳句会 | 花香 竹夫 | 13 |
| しのび坂短歌会 | 加瀬 教子 | 6 |

| | | |
|------------|------------|------------|
| その他 | 1団体 | 12人 |
| 旭囲碁同好会 | 畔蒜 績 | 12 |

| 部 門 | 団体数 | 会員数 |
|------------|-----------|--------------|
| 芸 能 部 | 44 | 718 |
| 美 術 部 | 25 | 348 |
| 茶 華 道 部 | 14 | 60 |
| 文 芸 部 | 8 | 87 |
| そ の 他 | 1 | 12 |
| 合 計 | 92 | 1,225 |

令和5年度～6年度役員名簿

| 種別 | 役職 | 氏名 | 部門 | 所属団体名 |
|------|--------|--------|-----|----------------|
| 理事 | 会長 | 花園 千名美 | 芸能 | あさひ舞踊会 |
| 理事 | 副会長 | 堀川 咲子 | 芸能 | JAちばみどり旭大正琴クラブ |
| 理事 | 副会長 | 宮内 幸平 | 美術 | 東総書道会 |
| 常任理事 | 芸能部長 | 平野 和三郎 | 芸能 | 袋カラオケ愛好会 |
| 常任理事 | 芸能副部長 | 宇畑 信行 | 芸能 | 東総歌謡研究会 |
| 常任理事 | 芸能部事務局 | 若柳 和里 | 芸能 | あさひ舞踊会 |
| 常任理事 | 芸能部事務局 | 山田 幸子 | 芸能 | ナプア エピリクウレイ |
| 常任理事 | 美術部長 | 加瀬 なを | 美術 | 雅押し花会 |
| 常任理事 | 美術部副部長 | 早川 悟 | 美術 | ニューフォト東総 |
| 常任理事 | 茶華道部長 | 石毛 千恵子 | 茶華道 | 石毛社中 表千家 |
| 理事 | 事務局長 | 高木 健寿 | 美術 | 干潟地区書道会 |
| 理事 | 事務局次長 | 相沢 弘幸 | 文芸 | さざなみ会 |
| 理事 | 会計 | 平野 茂子 | 芸能 | あさひ少年少女合唱団 |
| 理事 | | 加瀬 洋太 | 芸能 | 旭民謡会 |
| 理事 | | 小林 栄 | 芸能 | 三味線 藤栄会 |
| 理事 | | 平野 隆雄 | 芸能 | つばめ歌謡会 |
| 理事 | | 吉野 幸夫 | 芸能 | 東総歌謡研究会 |
| 理事 | | 宮崎 幸一 | 芸能 | 歌謡旭クラブ |
| 理事 | | 小倉 千恵子 | 芸能 | 海上歌謡虹の会 |
| 理事 | | 加瀬 美津江 | 芸能 | JAちばみどり旭大正琴クラブ |
| 理事 | | 遠藤 栄子 | 芸能 | 大正琴美咲会 |
| 理事 | | 藤村 吉素代 | 芸能 | 紫扇会 |
| 理事 | | 加瀬 一美 | 芸能 | みどりコーラス |
| 理事 | | 景山 初江 | 芸能 | フィオ サンライズ |
| 理事 | | 岩崎 梅園 | 芸能 | フィオ サンライズ |
| 理事 | | 柴田 洋子 | 芸能 | こひつじシスターズ |
| 理事 | | 伊藤 あき子 | 美術 | 創美会 |
| 理事 | | 宮内 やよい | 美術 | 雅押し花会 |
| 理事 | | 宮野 いつ子 | 美術 | 雅押し花会 |
| 理事 | | 大野 耕作 | 美術 | 東総書道会 |
| 理事 | | 薄田 美津子 | 美術 | 東総書道会 |
| 理事 | | 角崎 武男 | 美術 | 干潟陶芸クラブ炎の会 |
| 理事 | | 山口 純一 | 美術 | 窯香会 |
| 理事 | | 熱田 豊子 | 美術 | なでしこの会(和紙人形) |
| 理事 | | 嶋田 喜久代 | 茶華道 | 嶋田社中 池坊 |
| 理事 | | 荒木 美枝子 | 文芸 | 椿の会 俳句 |
| | | | | |
| 監事 | | 花香 竹夫 | 文芸 | 春蕾俳句会 |
| 監事 | | 浪川 とし子 | 美術 | 東総書道会 |

令和7年度「第21回 旭市文化祭」開催予定

| | | | |
|------------------|--------------|------------------------|--|
| 東総文化会館 (大ホール) | 芸 能 | 10月25日(土) 10月26日(日) | |
| いいおかユートピアセンター | 囲 碁 | 11月 1日(土) | |
| | 美術・文芸 ・華道 | 11月 1日(土) 11月 2日(日) | |
| | 茶 道 | 11月 1日(土) | |

令和7年度

第20回チャリティー芸能部発表会

令和8年3月1日(日)

東総文化会館 大ホール

第20回チャリティー美術展 生涯学習講座展を併催

令和8年3月7日(土) ・ 8日(日)

いいおかユートピアセンター

編集後記

本誌は、事業報告書では説明しきれない事業内容を記述し、これからの活動に生かせることを目指して編集しています。

発 行 旭市文化協会
発行責任者 会長 花園 千名美
編 集 者 事務局次長 相澤 弘幸
〒289-2604 旭市高生490-9
電話・FAX (55) 6116
携帯 090-4123-1862

発行日 令和7年3月31日